

内視鏡センターでの臨床工学技士の仕事

臨床工学技士は医療機器を専門に扱う医療スタッフです。

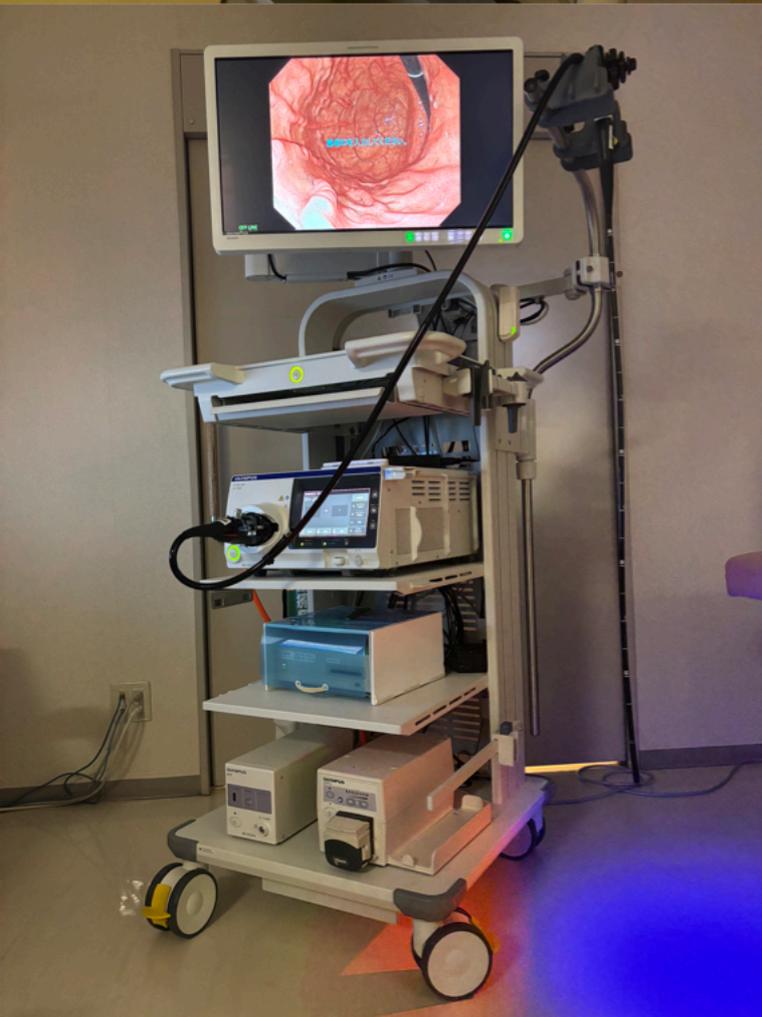
内視鏡センターでは、検査や治療で使う様々な機器が安全に行えるよう管理しています。

⚙️ 内視鏡センターの機器 ⚙️



～電気メス～

電気メスは、電気エネルギーで組織を切開・止血する医療機器で、内視鏡では主にポリープ切除に使用されます。電気を流してポリープを焼き切るように取り除き、同時に止血するため出血を抑えることができます。胃や大腸の粘膜は皮膚より痛みを感じにくく、強い痛みは通常ほとんどありません。



～内視鏡システム～

スコープから映し出される画像や、スコープから送り出される光を管理する装置です。

この画像の中には、腹部膨満感を軽減する炭酸ガス送気装置や治療の際の視野確保をサポートする送水装置も含まれています。

～洗浄機～

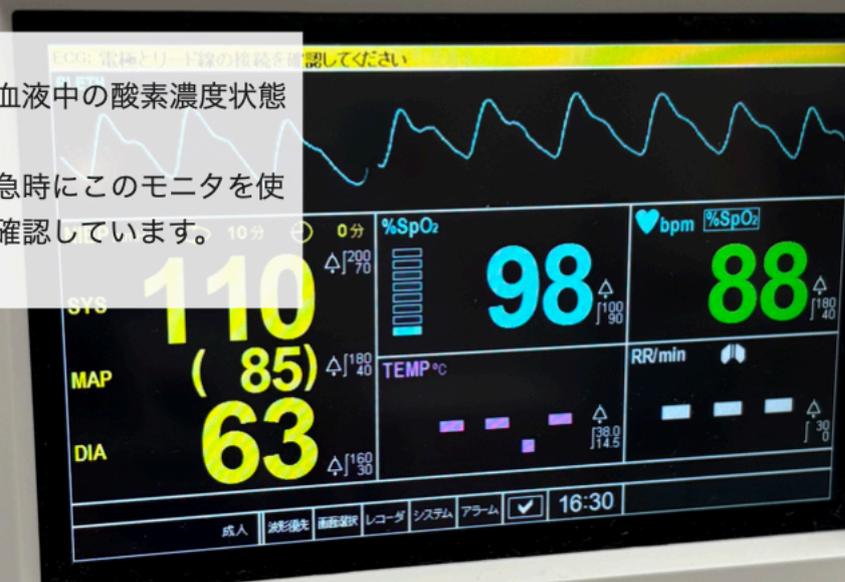
洗浄機は高水準消毒液である過酢酸を用いた富士フィルム社製ESR-200を使用。
確実な消毒行程を専用ソフトで臨床工学技士が管理し、感染対策を徹底したスコープを運用しています。

～生体情報モニタ～

HBP-2070NEXT

OMRON

患者さんの心拍数や血圧、血液中の酸素濃度状態などを測定する装置です。
内視鏡検査では鎮静時や緊急時にこのモニタを使用し常に患者さんの状態を確認しています。





～検査前のお仕事～



患者さんが来る前にこんな確認をしています

- ✓ 内視鏡システムのモニタ、装置の確認
- ✓ 洗浄機の日常点検
- ✓ 電気メスなど処置で使う機器の順備
- ✓ 内視鏡カメラの使用前点検

「正常に映るか」「安全に使えるか」
1つひとつ細かく確認していきます。



～検査中のお仕事～



患者さんの検査を近くでサポート

看護師だけでなく臨床工学技士も直接患者さんと接する場面があります。
検査中、緊張している患者さんが安心できるよう背中をさすったり声掛けを行っています。

医師の近くで機械面のサポート

医師が検査に集中できるように機械面のサポートを行っています

- ・ 映像が急に映らない
- ・ 機械のエラーが出た
- ・ 出力設定の調整が必要

そんな時は臨床工学技士がすぐに対応を行います



～検査後のお仕事～



検査が終わっても仕事は続きます

- ✓翌日の検査の準備

- ✓スコープの点検

- ✓スコープの洗浄確認

- ✓内視鏡システムの定期点検

- ✓洗浄機のメンテナンス

機械の不具合を見逃さないことが次の検査の安全につながります。



臨床工学技士は患者さんのすぐそばで支えています



- ✓機器が正しく動く

- ✓検査が安全に進む

- ✓医師が処置に集中できる

その裏側には、私たちの仕事があります。内視鏡検査を受ける時、「機械を見守っているスタッフもいるんだな」と少し思い出していただけたら嬉しいです。

チームで支える内視鏡診療

内視鏡センターでは、医師・看護師・臨床工学技士など多くのスタッフが協力しながら検査を行っています。

患者さんにとって安心・安全な検査になるよう今日もチームで支えていきます。